

明るい未来に向けて

人と自然が輝くまち・開成



開成町長 府川 裕一

あけまして おめでとうございます。

今年の、賀詞交換会では「温故知新」という中学生の作品を昨年に引き続き展示します。

開成町の歴史や文化をもう一度振り返り、先人たちの知恵・創意工夫を学び、開成町の明るい未来を創り上げて行きたいと思えます。

昨年は、「瑞氣集門」という書の作品を展示しました。おかげさまで、台風やゲリラ豪雨による大きな被害もなく過ごすことができました。

災害に強いまちづくりの推進のために、新しく危機管理担当課長を配置し、防災専門員も増員しました。また、命に関わる重要な情報が全町民に正しく伝わるように、テレビによるデータ放送の開始、防災行政無線の難聴対策としてテレホンサービスも導入しました。

平成25年度から第五次開成町総合計画がスタートします。開成町は、町民が町政の主役となり、行政と共にまちづくりを協働で進めていくことを基本としています。ですから、町の最重要計画である総合計画は、町民・議会・総合計画審議会の皆さんの力を結集して作り上げました。

開成町の将来像は「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」です。

今後、少子高齢化は進みますが、人口は約1万9千人を超えることが想定されています。常設型子育て支援センターを設置し、子どもを安心して育てられる環境を整え、開成町で育った子どもたちが大人になっても住み続けたいと思える町をめざします。

今年も引き続き防災には力を入れていきます。普段は憩いの場として使っているベンチが、災害時にはかまどに変身し、温かい食物を提供できるようにするなど避難場所としての防災機能を備えた中家村公園の整備、防災行政無線も受信できる防災ラジオの導入も図っていきます。

また、自治会を中心とした活発な活動により「元氣な開成町」を発信していきます。

今年も町民の皆さんの目線で考え、行動するために、積極的に皆様方のお力にお伺いし、皆さんの声を直接聞きながら、町づくりを進めて行きたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

